

平成31年度予算見積調書

課室名: 森づくり課
 担当名: 治山・森林管理道担当
 内線: 4316 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B86	治山施設点検調査事業		一般会計	農林水産業費	林業費	治山費	治山事業費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	林野庁インフラ長寿命化計画 治山施設に係る個別施設計画策定のためのガイドライン		宣言項目			
					分野施策	020518 治水・治山対策の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>治山施設は、山地災害から県民の生命や財産・公共施設等を保全する重要なインフラである。 県が、長年に渡り設置し管理している治山施設について、長寿命化対策の推進を図るため、順次、点検・調査・診断を行い、個別施設計画を策定し、効率的で経済的な施設の維持管理・更新につなげる。</p>			<p>(1) 事業内容 治山施設の点検・調査・診断 実施箇所数 53,215千円</p> <p>(2) 事業計画 平成30年度 治山施設位置情報整備 県内一円 1式 定期点検・追加調査・健全度の診断・個別計画作成 平成31年度～平成34年度 定期点検・追加調査・健全度の診断・個別計画作成 平成35年度以降 詳細調査、残りの施設の点検の実施を予定</p> <p>(3) 事業効果 修繕や更新の必要な施設を把握することにより、予防保全型の維持管理が行える。 また、優先度の判定により、計画的な補修計画の策定や予算の確保が行え、維持管理に係るトータルコストの縮減や、予算支出の平準化につながる。 治山施設の効果が長年に渡って適切に発揮されることにより、山地災害の予防・被害の軽減に資する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 職員により治山台帳及び施設位置図の修正更新を行う。 また、個別施設計画のとりまとめ及び修繕計画の策定を行う。</p> <p>(5) その他 なし</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額								
決定額	53,215						53,215	△1,109
前年額	54,324						54,324	